

宮城教育大学 第七回復興カフェ in Miyakyo を開催 (9月19日)

宮城教育大学教育復興支援センターでは、東日本大震災からの教育復興に関する講演やワークショップを中心とする「復興カフェ in Miyakyo」を開催している。この第七回復興カフェ in Miyakyo は「持続し復元力ある地域をつくるコミュニティの物語 ～ ポートランドからの復興ヒント ～」というタイトルで、ポートランド州立大学 都市研究学部 教授スティーブ・リード・ジョンソン博士 が講演を行った。これは徳島大学地域創成センター長吉田敦也教授の招きにより来日したジョンソン博士が、東日本大震災の被災地を現地検分する際に仙台に立ちよる機会があったことで実現したものである。

博士によると、ポートランドは、かつて良い街でなかったが、「おいしい食べ物」「素晴らしい街」といったフィクションの物語を作り、40年後そのフィクションを実現させ、ついに環境にやさしく地産地消する町、市民が行政に参加する街となった。東日本大震災からの復興に、このようなポートランドの街づくりの手法が使えるのではないかとのことである。

今回は、共催である附属図書館のリフレッシュコーナーというオープンスペースで開催され、45名の参加者を得た。



ポートランド州立大学 都市研究学部教授  
スティーブ・リード・ジョンソン博士



司会進行兼同時通訳の小田隆史准教授



世話人の徳島大学地域創成センター長  
吉田敦也教授